



株式会社 オーシャンシステム

無限に広がる買い物体験



<https://www.ocean-system.com/>

2024年3月期 決算説明会

証券コード：3096

2024年6月7日(金)

	Page
1. 企業概要	3
2. 2024年3月期決算概要	4
3. 2025年3月期業績予想	10
4. 中期経営計画	12
5. 株主還元	16
6. Ocean DX構想	18
7. ESG及びSDGsの取り組み	21
参考資料	22

1. 企業概要

事業内容

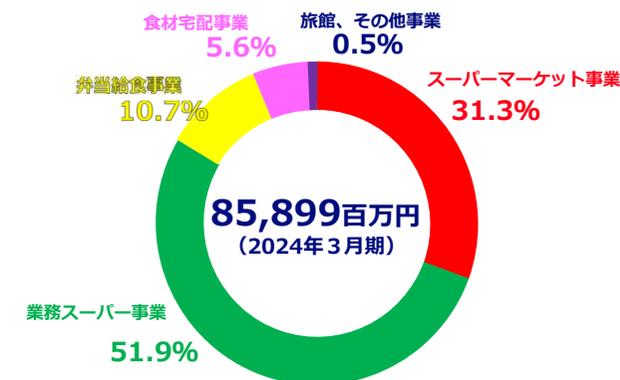
当社グループは、株式会社オーシャンシステム（当社）及び連結子会社3社により構成されております。当社グループは「食」に関わる事業を展開しており、主に、家庭用・業務用に多彩な食料品を店舗で提供するスーパーマーケット事業及び業務スーパー事業、企業で働く人に昼の弁当を提供する弁当給食事業、家庭での夕食メニューに即した食材を宅配する食材宅配事業、割烹旅館で非日常のメニューを提供する旅館事業及びその他の事業について事業部制組織で展開しております。また、株式会社サンキューオールジャパンでは「フレッシュランチ39」のフランチャイズ展開を行っております。

事業分類

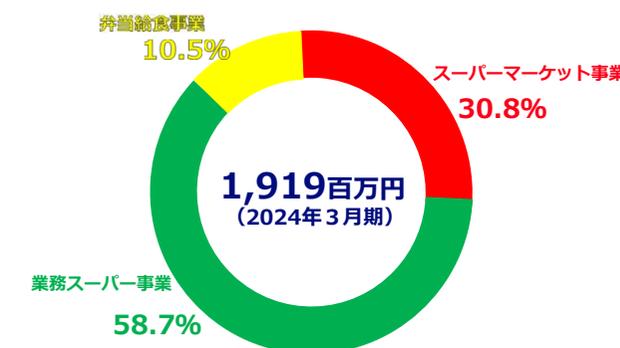
事業セグメント名	主なブランド名	主な会社及び部門	主な事業内容
スーパーマーケット事業		(当社) チャレンジャー事業部	食品スーパー「チャレンジャー」による店舗展開
業務スーパー事業		(当社) 業務スーパー事業部 (連結子会社) (株)カワサキ	「業務スーパー」の店舗展開及びフランチャイズエリア内におけるサブFCの指導・管理
弁当給食事業		(当社) ランチサービス事業部 (連結子会社) (株)フォーディー	「フレッシュランチ39」等ブランドによる企業宅配弁当の製造及び販売
		(連結子会社) (株)サンキューオールジャパン	「フレッシュランチ39」のFC展開
		(当社) コントラクトフードサービス事業部	社員食堂、福祉給食、学校給食など食堂の運営受託
		(当社) デリカフーズ事業部	千葉工場に関東、東北地域に向けてお弁当、お惣菜などを受託製造
食材宅配事業		(当社) 宅配事業部 ※	地域名産品・お取り寄せ品などの食品や一般家庭用消耗品などを自宅まで宅配
			「ヨシケイ」ブランドによる夕食材料セット等の宅配
			ケアハウス・グループホームなどの福祉施設への食材販売
旅館、その他事業		(当社) 海風亭 寺泊 日本海	旅館「海風亭 寺泊 日本海」の運営
		(当社) キラキラレストラン焼肉黒真 別荘寺泊にほん海・感化	新潟市が運営する「いくとびあ食花」施設内の「キラキラレストラン焼肉黒真」・「別荘寺泊にほん海」及び「感化」の運営

※2023年4月に食材宅配事業を行う株式会社ヨシケイ両毛（1977年9月設立、資本金10,000千円）の全株式を取得し子会社としましたが、2024年4月に吸収合併致しました。

売上高構成比



営業利益構成比



※営業利益がマイナスである事業はゼロとして構成比を算出しております。

2. 2024年3月期決算概要（業績ハイライト）

連結売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行により各種催事やイベントなどが再開され、業者向けの需要が回復したことと、消費者ニーズに応えたEDLP（エブリデイ・ロープライス）などの価格訴求策が奏功したことにより、スーパーマーケット事業及び業務スーパー事業において来客数が順調に推移し、連結売上高は過去最高を更新いたしました。

また、利益面につきましても、販売好調に加え、一部商品を適正価格へ引き上げたことと、雇用が逼迫し人件費が上昇する中で、限られた人的資源の有効活用と効率的な店舗運営に努めたことなどにより予想を上回る結果となり、ROE（自己資本利益率）につきましても当期純利益の増加により達成いたしました。



※1 ROE：自己資本当期純利益率



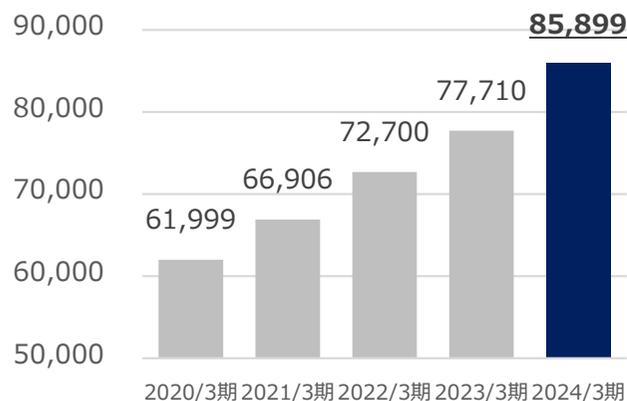
※2 PER：株価収益率



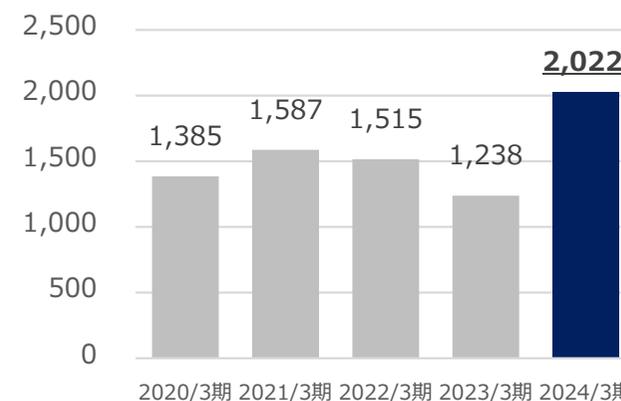
※3 PBR：株価純資産倍率



(単位：百万円)



(単位：百万円)



(単位：百万円)



2. 2024年3月期決算概要（連結P/Lサマリー）

- ・スーパーマーケット事業は、非生鮮部門を拡張し買い回りしやすい売場へと刷新したチャレンジャー巻店を中心に、価格訴求策が奏功し、来客数は堅調に推移。
- ・業務スーパー事業は、業者向けの需要が大きく回復したことに加え、食料品や日用品が相次いで値上がりするなか、消費者に支持される品質と価格での商品提供を継続することにより来客数は堅調に推移。
- ・弁当給食事業は、品質と味や見栄えなどの向上を図ることで魅力あるお弁当作りへ取り組み、適正な販売価格への引き上げにより利益率が改善。
- ・食材宅配事業は、(株)ヨシケイ両毛を子会社化したことにより売上高は増加したものの、新規顧客が減少したことにより販売セット数及びギフトやお取り寄せなどの季節商品の販売数が前年に比べ減少。

(単位：百万円)	2024年3月期		2023年3月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	85,899	100.0%	77,710	100.0%	8,189	10.5%
スーパーマーケット事業	26,846	31.3%	24,628	31.7%	2,217	9.0%
業務スーパー事業	44,599	51.9%	39,429	50.7%	5,170	13.1%
弁当給食事業	9,225	10.7%	8,694	11.2%	530	6.1%
食材宅配事業	4,809	5.6%	4,544	5.9%	265	5.8%
旅館、その他事業	418	0.5%	413	0.5%	5	1.3%
セグメント利益	1,919	100.0%	1,128	100.0%	790	70.0%
スーパーマーケット事業	911	47.5%	531	47.1%	379	71.4%
業務スーパー事業	1,529	79.7%	1,014	89.8%	515	50.9%
弁当給食事業	343	17.9%	182	16.1%	161	88.4%
食材宅配事業	▲59	▲3.1%	87	7.8%	▲147	-
旅館、その他事業	▲101	▲5.3%	▲83	▲7.4%	▲17	-
調整額	▲704	▲36.7%	▲603	▲53.4%	▲101	-
経常利益	2,022	100.0%	1,238	100.0%	784	63.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,337	100.0%	358	100.0%	979	273.4%

2. 2024年3月期決算概要（連結B/Sサマリー）

- ・売上高の増加により現金及び預金、売掛金及び買掛金などが増加。
- ・約定返済の進捗と利益剰余金の増加により財務体質が改善。
- ・リース契約としていたスーパーマーケット事業の一部店舗を買い取ったことにより差入保証金が減少し、建物が増加。

(単位：百万円)	2024年 3月期	2023年 3月期	増減額	(単位：百万円)	2024年 3月期	2023年 3月期	増減額
流動資産	10,663	8,999	1,664	流動負債	8,847	7,637	1,210
現金及び預金	4,896	3,506	1,390	買掛金	4,677	4,296	381
売掛金	3,086	2,539	547	短期借入金	737	945	▲207
商品	2,019	2,255	▲235	未払金	874	707	166
その他	661	699	▲38	その他	2,557	1,687	870
固定資産	12,984	13,016	▲32	固定負債	4,444	5,306	▲861
建物及び構築物	5,753	5,602	150	長期借入金	2,536	3,274	▲737
土地	3,131	3,123	8	その他	1,908	2,031	▲123
その他（有形固定資産）	1,235	1,282	▲46	純資産合計	10,356	9,073	1,283
無形固定資産	240	263	▲22	資本金	801	801	－
投資有価証券	613	604	8	資本剰余金	366	366	－
敷金	645	640	4	利益剰余金	9,893	8,687	1,205
差入保証金	710	958	▲247	自己株式	▲1,169	▲1,169	▲0
その他（投資資産）	653	540	112	その他の包括利益累計額	464	386	77
資産合計	23,648	22,016	1,632	負債純資産合計	23,648	22,016	1,632

2. 2024年3月期決算概要 (連結キャッシュ・フローサマリー)

- ・現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ13億90百万円増加し47億67百万円の期末残高となる。
- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権が増加するものの、税金等調整前当期純利益・減価償却費・仕入債務の増加・未払消費税等の増加により34億56百万円の取得。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより6億98百万円の支出。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済・リース債務の返済・配当金の支払などにより13億66百万円の支出。

(単位：百万円)	2024年3月期	2023年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,456	1,276	2,179
税金等調整前当期純利益	1,943	727	1,215
減価償却費 (のれんを含む)	975	1,017	▲42
減損損失	160	410	▲249
売上債権の増減額 (▲は増加)	▲505	▲56	▲449
棚卸資産の増減額 (▲は増加)	258	▲451	710
仕入債務の増減額 (▲は減少)	357	133	223
法人税等の支払額	▲386	▲550	163
その他	652	44	607
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲698	▲1,344	646
有形固定資産の取得による支出	▲697	▲1,069	371
その他	▲1	▲275	274
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,366	▲47	▲1,319
社債の償還による支出	-	▲600	600
長期借入れによる収入	-	2,200	▲2,200
長期借入金の支払による支出	▲927	▲1,237	309
配当金の支払い額	▲131	▲131	▲0
その他	▲307	▲278	▲29
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	1,390	▲116	
現金及び現金同等物の期末残高	4,767	3,377	1,390

2. 2024年3月期決算概要（店舗・設備の状況）

- ・業務スーパー事業の直営店では、親会社と子会社でそれぞれ1店舗の新規出店と親会社で1店舗の移転。
- ・「フレッシュランチ39」「ぐるめし本舗」のお弁当をご利用の法人に、専用保冷庫「OFFICE OMZIN」を設置し、置き型弁当・惣菜サービスを提供。

業態	2024年3月期末 店舗数	2024年3月期 出店	2024年3月期 閉店	2023年3月期末 店舗数
チャレンジャー事業部	10	—	—	10
業務スーパー事業部 (子会社含む直営店)	77	2	—	75
業務スーパー事業部 (フランチャイズ) ※1	37	2	1	36
フレッシュランチ39 (直営店)	16	—	—	16
フレッシュランチ39 (フランチャイズ店)	62	—	1	63
旅館、その他事業 ※3	4	2	—	2
OFFICE OMZIN ※4	504	504	—	—

- ※1. 連結子会社である㈱カワサキの店舗数は、「フランチャイズ」から除いており、「子会社含む直営店」に含めております。
 ※2. 移転は上記出店及び閉店には含んでおりません。
 ※3. キラキラレストラン焼肉黒真内を一部改装し、別亭寺泊にほん海（海鮮パフェの店）及び感化（新感覚中華料理ヌーベルシノワ）をオープンしました。
 ※4. OFFICE OMZINは、お弁当の保管・管理と惣菜サービスのための専用の冷凍・冷蔵ボックスサービスとなります。（詳細は20ページ記載）

設備投資額（百万円）	2024年3月期	2023年3月期
新店・移転投資分	479	1,622
上記以外 ※	545	412

※2024年3月期の主な設備投資

- ・業務スーパーの新店（含む移転） 356百万円
- ・システム投資 78百万円
- ・太陽光発電設備 45百万円

※リース満了に伴い建物を買取った物件についての差入保証金から建物への振替額は上記からは除いております。

2. 2024年3月期決算概要（既存店売上概況）

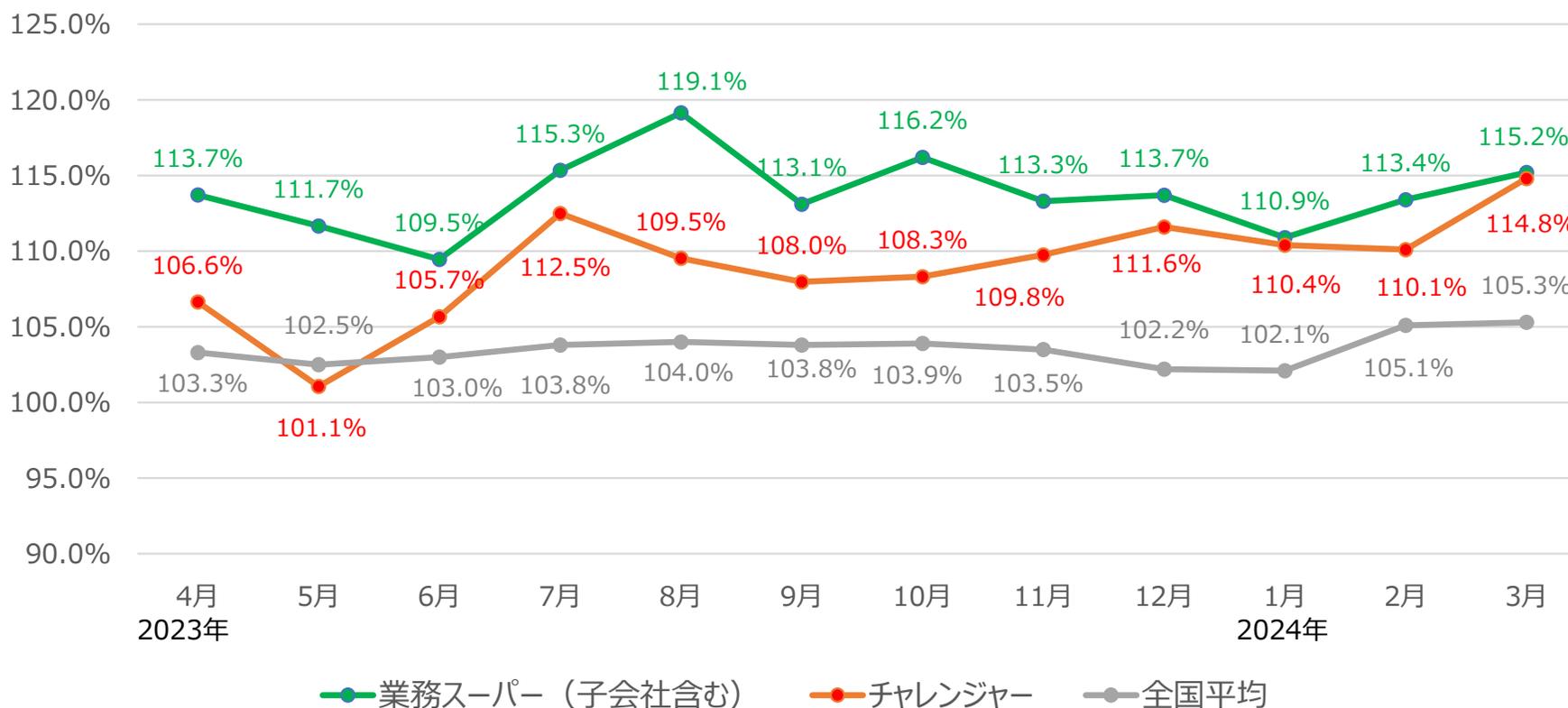
チャレンジャー	売上高	客数	客単価
2024年3月期	109.0%	102.4%	106.5%
2023年3月期	100.8%	96.5%	104.4%
2022年3月期	101.5%	101.1%	100.4%

業務スーパー	売上高	客数	客単価
2024年3月期	113.8%	107.8%	105.5%
2023年3月期	109.5%	100.9%	108.5%
2022年3月期	102.3%	98.7%	103.7%

※1. 開店から13か月経過した店舗を既存店としております。
 ※2. 上記数値は対前年比となります。

(単位：%)

【既存店前年比月次売上高概況】



出店：日本スーパーマーケット協会統計調査

3. 2025年3月期業績予想

2025年3月期につきましては、社会環境の変化や働き方の多様化、環境問題の深刻化やテクノロジーの進展といった課題に対して、2027年3月期を最終年度とした中期経営計画に取り組む。

また、既存事業の収益拡大に加え、その既存事業の強みを生かした新たなサービスビジネスの創出とオーシャンDXの更なる推進とサステナビリティ経営の推進により収益性の向上に努める。

店舗展開につきましては、業務スーパー事業で新規出店を9店舗と3店舗の移転を計画。

投資環境の変化（賃料相場、建設コストの高騰）と現下の労働市場の動向（労働力需給の逼迫等）を踏まえ、狭義の新規出店と拡大再出店規模のリロケーションを総合的に勘案し、確実な売上拡大を図る。

(単位：百万円)	2025年3月期 予想			2024年3月期 実績		
	金額	売上高比	前期比	金額	売上高比	前期比
売上高	90,600	100.0%	5.5%	85,899	100.0%	10.5%
営業利益	1,700	1.9%	▲11.4%	1,919	2.2%	70.0%
経常利益	1,780	2.0%	▲12.0%	2,022	2.4%	63.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,190	1.3%	▲11.0%	1,337	1.6%	273.4%

2025年3月期 店舗出店予定

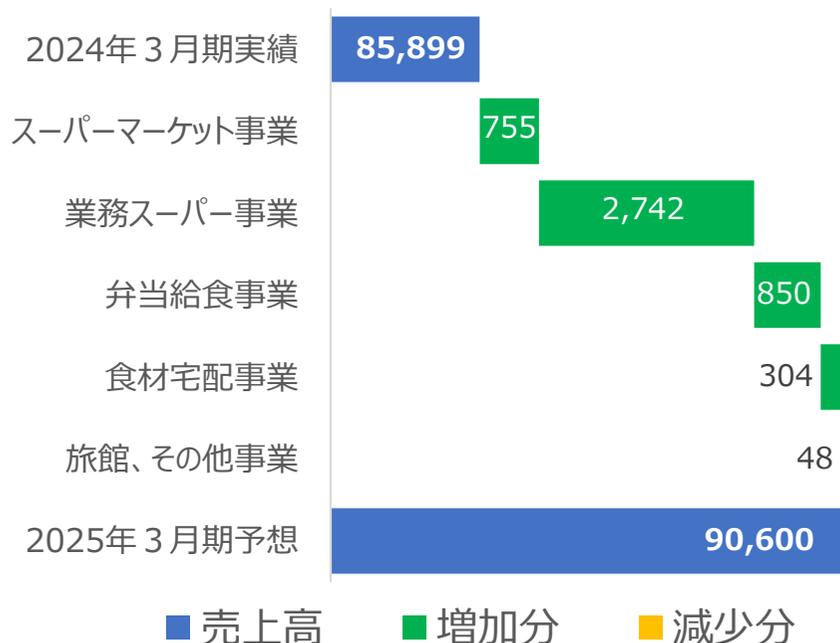
- ・業務スーパー事業で新店9店舗、移転3店舗を計画

3. 2025年3月期業績予想（セグメント別増減要因）

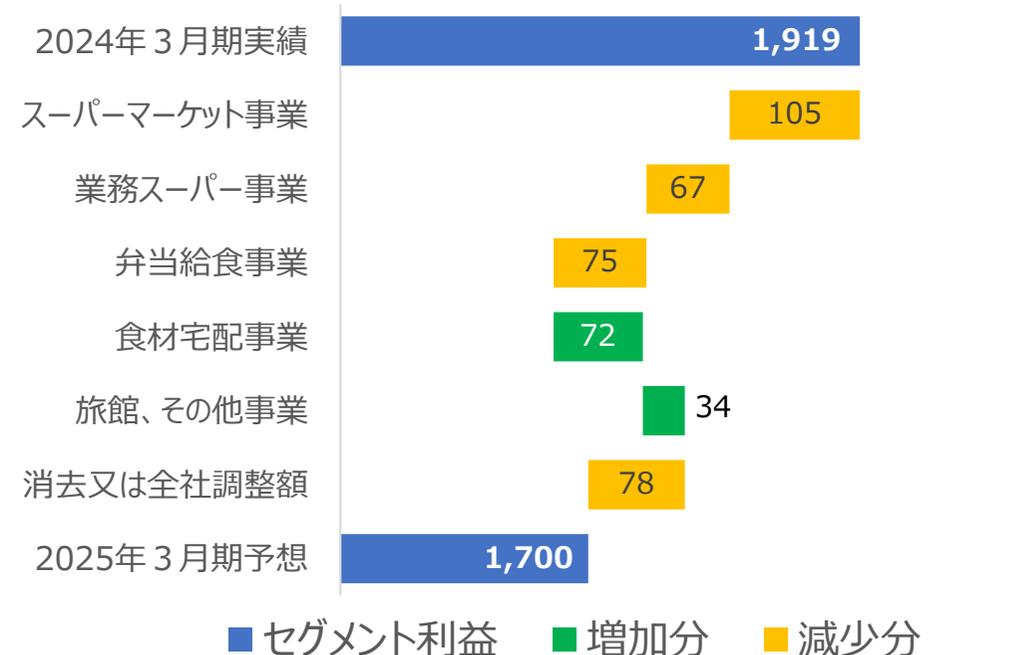
【各セグメントにおける取り組み事項】

- ・スーパーマーケット事業は、粗利率の高い生鮮構成比の増加と各店舗のオペレーションを再構築し、ストアコンディションの向上を図る。
- ・業務スーパー事業は、建設コストの高騰などの投資環境の変化と現下の労働市場の動向を踏まえ、新規出店とリロケーションを総合的に勘案し、確実な売上拡大を図る。
- ・弁当給食事業は、常温・チルド・冷凍の3温度商品の開発を行い、土日祝の顧客対応への再構築を図る。また、受託製造に関しては、商品開発と機械化の促進を図る。
- ・食材宅配事業は、市場や顧客情報を有効的に活用し、顧客ニーズに即した商品開発を行う。

【売上高の増減】（単位：百万円）



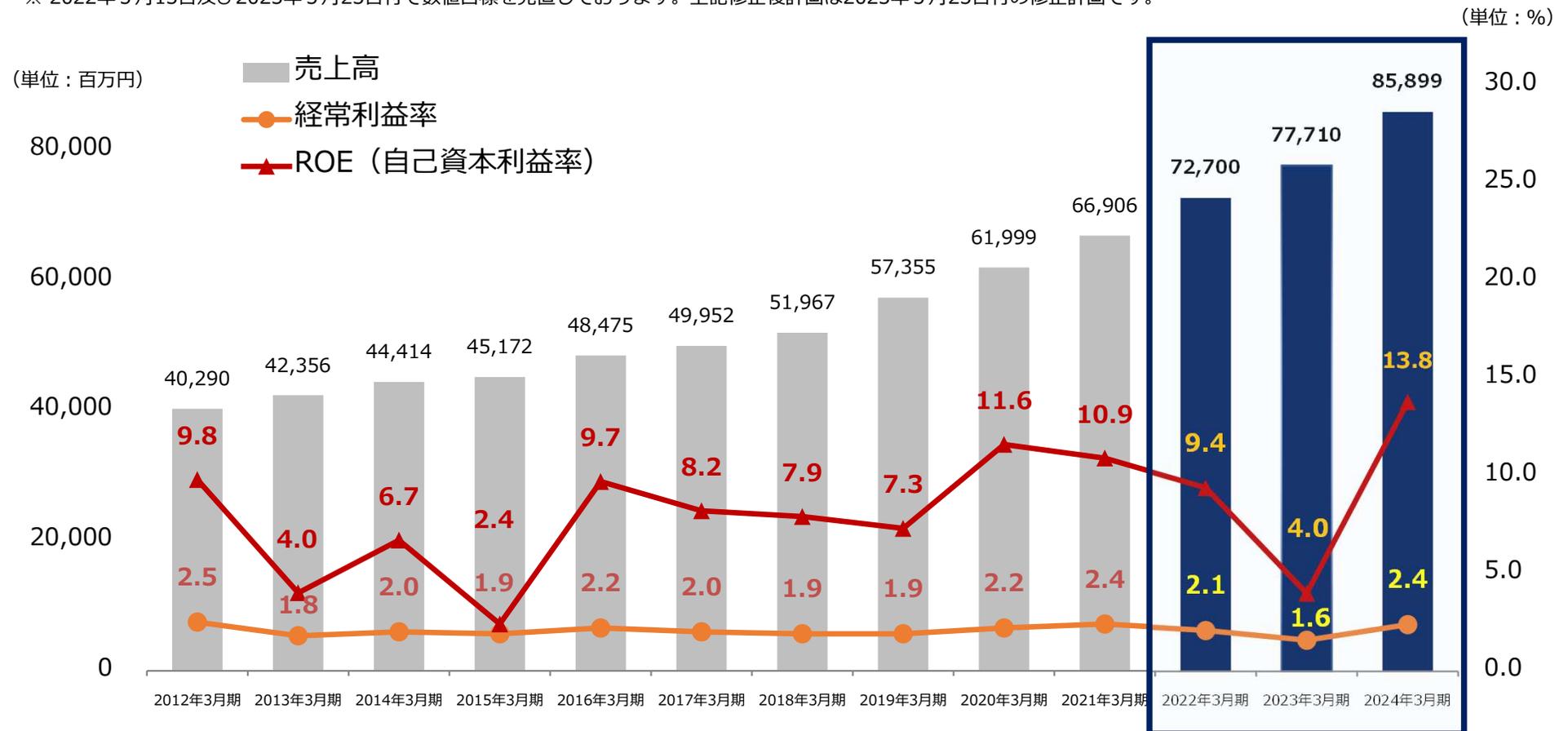
【セグメント利益の増減】（単位：百万円）



4. 中期経営計画 (前中期計画の振り返り)

項目	連結売上高	連結経常利益率	ROE (自己資本利益率)
当初計画	856億円	2.0%以上	11%程度
修正後計画 ※	821億円	1.2%以上	7%程度
実績	858億円	2.4%	13.8%
総括	業務スーパー事業において出店数は計画に満たなかったものの、当初計画を達成	スーパーマーケット事業及び業務スーパー事業が貢献	当期純利益の増加により達成

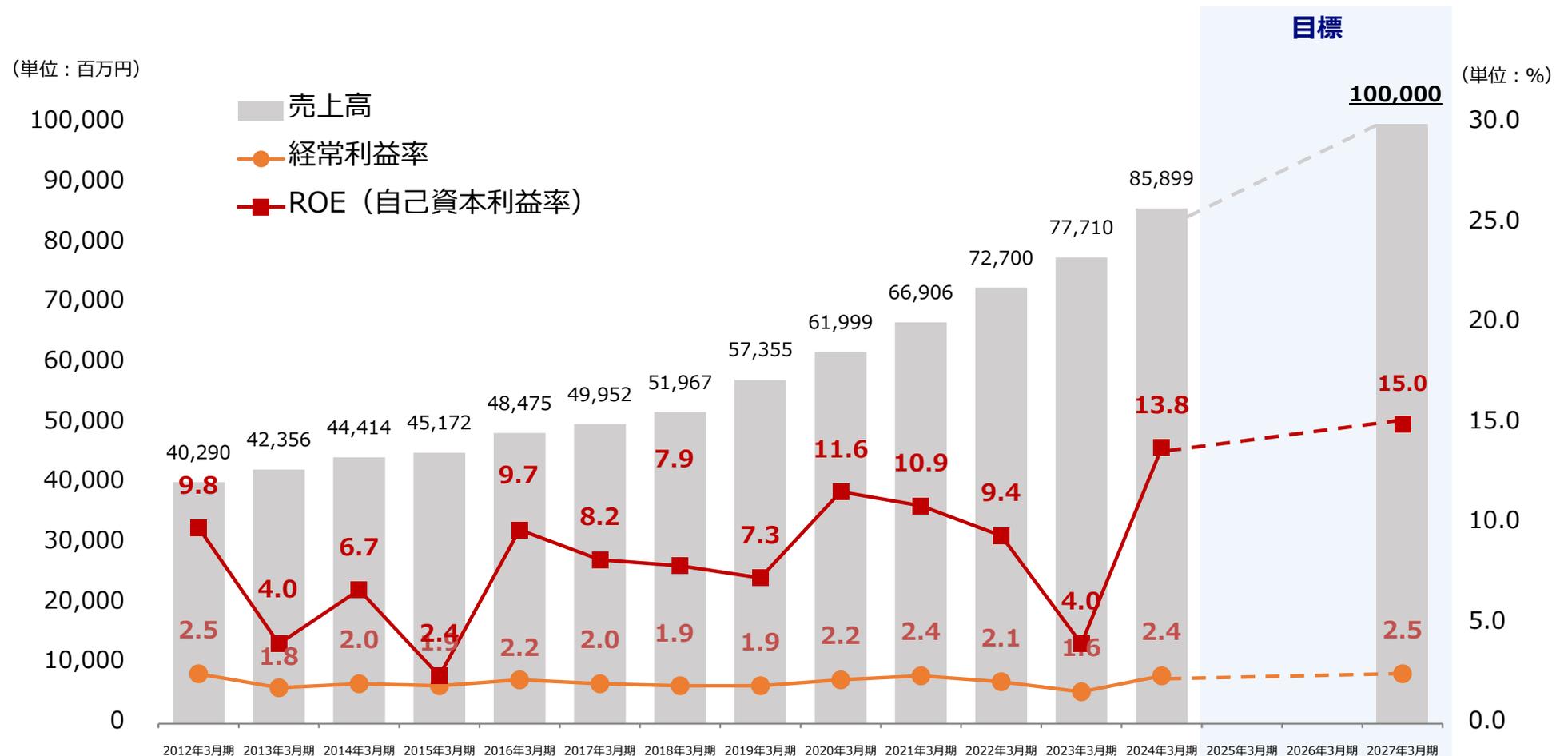
※ 2022年5月13日及び2023年5月23日付で数値目標を見直しております。上記修正後計画は2023年5月23日付の修正計画です。



4. 中期経営計画 (計数目標)

連結売上高1,000億円と連結経常利益率及び各指標の向上への挑戦

項目	連結売上高	連結経常利益率	ROE (自己資本利益率)	PBR (株価純資産倍率)
2024年3月期実績	858億円	2.4%	13.8%	1.0倍
2027年3月期目標	1,000億円	2.5%以上	15%程度	1倍以上



当社の強み

POINT
1

安定的な収益基盤

全社ローコストオペレーション、フランチャイジー展開により収益基盤が確保されており、持続的な企業成長への原資となっております。

POINT
2

強固な事業ポートフォリオ構築

自社事業、フランチャイジー事業、フランチャイジー事業と幅広い事業領域を抱えることで、事業リスクを分散、また事業間シナジーの源泉につながっています。

POINT
3

柔軟かつ積極的な事業投資

将来の予測が困難なVUCA*の時代に対応し、事業間シナジーの創出やDX化など柔軟に事業投資、バリューチェーンの再構築をしています。また、その背景にはチャレンジ精神に溢れたオーシャンシステムの組織文化があります。

*VUCA:変化が激しく、あらゆるものを取り巻く環境が複雑性を増し、想定外の事象が発生する将来予測が困難な状態

当社の課題

課題
1

安全・安心な食品とサービスの提供

当社グループの経営理念としても掲げており、最重要課題として認識しております。関連法令の遵守はもとより、自主検査の実施、QA（品質保証）担当者による定期巡回、品質管理部門の組織充実と機能強化を行い、一層の品質管理、食品衛生管理の強化に取り組んでまいります。

課題
2

事業基盤の強化

スーパーマーケット事業につきましては、引き続き低価格戦略を推進するとともに売場環境及び商品構成の見直しを行い、より魅力ある店づくりに取り組んでまいります。業務スーパー事業につきましては、直営店ならびにサブFC店による出店など、戦略的な営業展開を進めてまいります。

課題
3

人材の確保と育成

厳格な管理体制及び積極的な営業活動を行うために優秀な人材の確保が急務となっております。当社グループといたしましては、中途採用ならびに新卒採用の両面に注力し、育成とフォローアップ体制の整備を充実させることにより人材のスキルアップと組織の活性化を図ってまいります。

課題
4

コーポレートガバナンス

持続的成長をかなえるための企業体質の確立に向けて、透明で公正な経営体制の構築と迅速な意思決定への取り組みを通じて、業容の拡大に応じたコーポレートガバナンスの更なる充実に努めてまいります。

4. 中期経営計画（資本コストや株価への対応）

- ・2024年3月期末の自己資本利益率（ROE）は13.8%であり、株主資本コストを11.3ポイント上回っている。
- ・2024年3月期末の投下資本利益率（ROIC）は9.3%であり、資本コストを7.4ポイント上回り資本収益性は達成できている。
- ・2024年3月期末の株価純資産倍率（PBR）は1.0倍であるものの、純資産額の増加により年々低下傾向。
- ・**資本コストを上回る資本収益性を達成し続けることのみならず、PBR 1倍以上を目標とし、持続的成長による収益拡大及びROEの向上が今後の課題。**

【各種指標の推移】

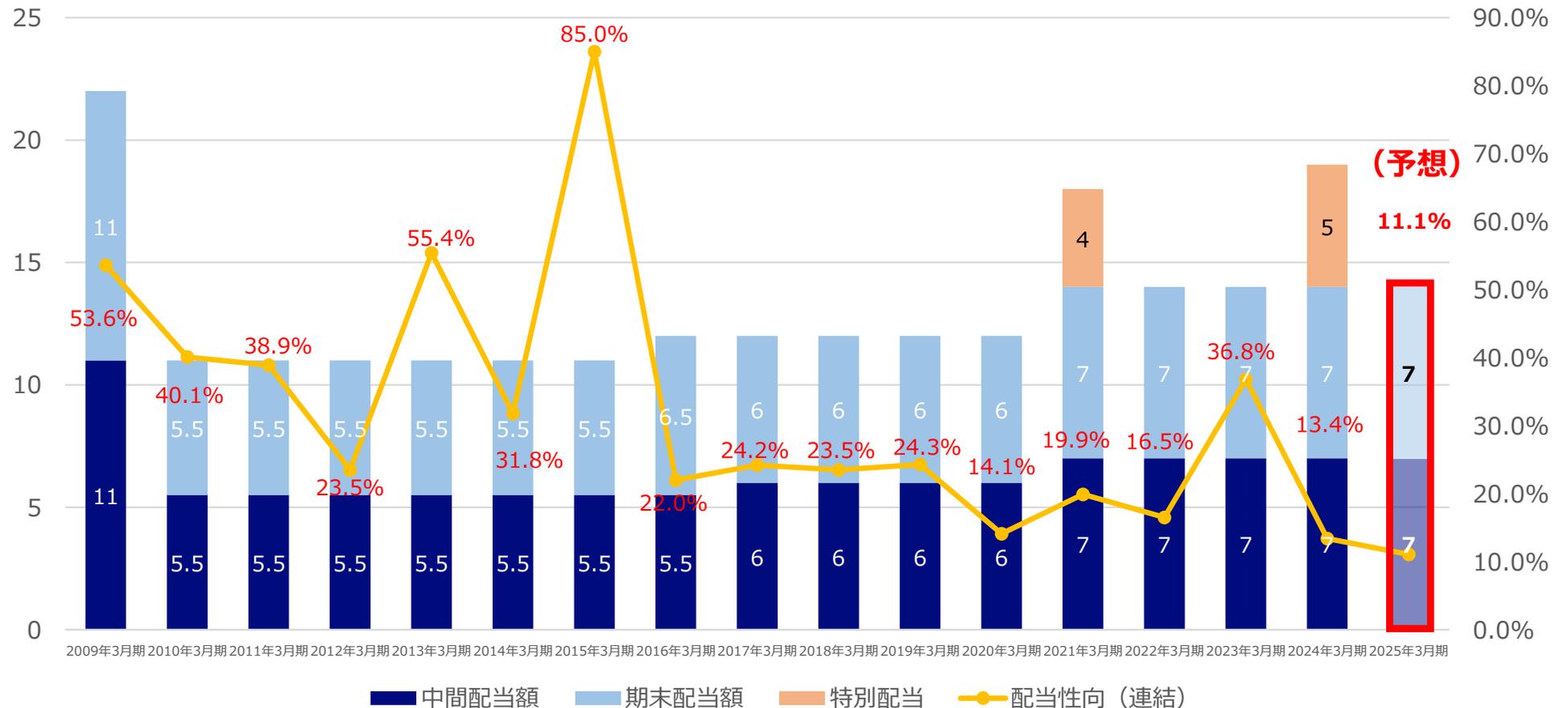


連結	単位	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
期末日株価終値	円	874	1,189	992	961	1,096
株価収益率（P E R）	倍	10.3	13.1	11.7	25.3	7.7
自己資本利益率（R O E）	%	11.6	10.9	9.4	4.0	13.8
総資産経常利益率（R O A）	%	7.5	8.3	7.5	5.7	8.9
株価純資産倍率（P B R）	倍	1.1	1.4	1.1	1.0	1.0
株主資本コスト（C A P M）	%	2.0	2.0	2.3	2.4	2.5
資本コスト（W A C C）	%	1.5	1.7	1.6	1.6	1.9
投下資本利益率（R O I C）	%	7.7	8.7	7.3	5.5	9.3

5. 株主還元（配当政策）

- ・ 当社は、株主に対する利益還元の充実を経営上の重要課題の1つとして認識しております。2024年3月期の期末配当金につきましては、当期連結業績が順調に推移したことを勘案し、1株当たり普通配当7円に加え、特別配当5円を実施。
- ・ 配当原資確保のために財務体質の強化や収益力をアップし、継続的かつ安定的な配当を実施していくことを基本方針としており、来期の配当につきましても年間14円（中間配当7円・期末配当7円）を計画しております。

(単位：円)



5. 株主還元（株主優待）

株主の皆様の日頃の支援に感謝するとともに、当社グループに対するご理解をより深め、中長期的にご支援をいただくことを目的として、2021年8月に株主優待制度を拡充。

【株主優待制度の内容】

基準となる保有株式数	優待内容	
	新潟県在住の株主様	左記以外の株主様
200株以上500株未満	株主優待券2,000円分 (200円券×10枚)	優待米 3 kg
500株以上1,000株未満	株主優待券5,000円分 (200円券×25枚)	優待米 5 kgを含むカタログギフト
1,000株以上	株主優待券10,000円分 (200円券×50枚)	優待米10kgを含むカタログギフト

※ 1. 株主優待券のご利用方法

1,000円（税込）お買い上げごとに、200円券 1枚がご利用いただけます。

【株主優待券のご利用可能店舗】

チャレンジャー、業務スーパー、ヨシケイ新潟、海風亭寺泊日本海、キラキラレストラン焼肉黒真、別亭寺泊にほん海、感化

（いずれも新潟県内の店舗・営業所に限り、弊社直営でないテナントなどではご利用いただけません）

2. 株主優待券の有効期限

対象株主様	有効期限
3月31日現在の株主様	翌年1月31日まで
9月30日現在の株主様	翌年7月31日まで

3. カタログギフトの期限

カタログギフトにはお申し込みの期限があり、期限内にお申し込みがない場合は、ご優待米を送付いたします。





OM Channel

オーシャンシステムの、すべての事業をプラットフォーム「OM Channel」で繋ぎ、より便利な買い物体験を提供します。

スマホアプリ「OM Channel」では、1つのIDですべてのサービスが利用可能となります。キャッシュレスで注文から支払までできる「OMペイ」さらにご利用に応じて「OMポイント」が付与される、使えば使うほどお得なアプリです。

企業向け

Channel 01 オフィスデリバリー Channel

オフィスへ配達するサービスをまとめたチャンネルです。「フレッシュランチ39」「ぐるめし本舗」などへのお弁当注文、またはオフィス向けサービス「OMZIN（置き型弁当・惣菜サービス）」での注文・購入にご利用いただけます。



個人向け

Channel 02 ホームデリバリー Channel

アプリでご注文いただき宅配するサービスをまとめたチャンネルです。「チャレンジャー」の商品や、「ヨシケイ」のミールキット、「みんなのマルシェ」の食品、日用品、雑貨などの特選アイテムをご注文いただけます。



個人向け

Channel 03 Ocean商店街 Channel

各県の美味しいものや一品の注文ができる、全国の「名店」をまとめたチャンネルです。



個人向け

Channel 04 テイクアウト Channel

レストラン、スーパーマーケットなどのテイクアウトサービスをまとめたチャンネルです。チャレンジャー店舗でのおすすめ商品の予約注文や、取り置きサービスがご利用いただけます。



6. Ocean DX構想 (無人決済サービス「OMZIN」)

「オフィス」の東野課題を解決。
置き型弁当・惣菜サービス「OFFICE OMZIN」



OFFICE OMZIN (オフィス オムジン)とは？

「フレッシュランチ39」「ぐるめし本舗」の弁当配送サービスをご利用の事業者に専用保冷庫をご納品。お弁当置き場がリニューアル！置き型弁当・惣菜サービス「OFFICE OMZIN」

専用保冷庫にリニューアル！



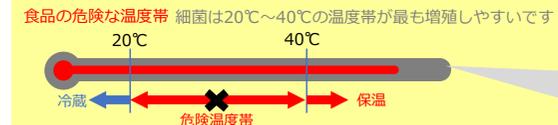
選べる美味しさ、あなたの職場に

いつもの日替わり弁当とは別メニューの冷蔵弁当やサラダのほか、軽食にぴったりなお茶漬けや、持ち帰りにも便利な惣菜を保管できるOFFICE OMZIN「冷凍庫」も展開。「OM Channel」アプリで楽々注文&購入ができます。



温暖化による気温上昇の対策に

冷蔵庫でのお弁当保管で、食の安全・安心をサポートします。



危険温度帯で調理食品を長時間放置しないことが必要です。



CHALLENGER OMZIN (チャレンジャー オムジン)とは？

チャレンジャー中央インター店に併設してオープン。チャレンジャー店舗では手に入らない、各県の美味しいものや一品をラインナップ。新たな買い物体験を提供いたします。



センサー感知による自動決済

来店した利用者が手に取った商品を天井のカメラや棚のセンサーで、リアルタイムで感知し、レジで商品を読み取ることなく会計を可能にする省スペース、ローコストの無人決済システムです。

7. ESG及びSDGsの取り組み



オーシャンシステムのSDGsの取り組み

あらゆる人に届く「食のインフラ」を構築。

OceanDXの取り組みを通して、あらゆる食のサービスを包括的に利用できるアプリや宅配サービス等をご提供し、高齢化、人口減少、アフターコロナ社会における「食のインフラ」を構築していきます。



環境保全のためエネルギーの無駄を省く。

無駄のないエネルギーや資源利用に努め、温室効果ガスの削減に寄与します。OceanDXで従来の事業を連携することで、物流網全体を効率化しエネルギーの削減につなげていきます。



新潟県三条市へ寄付金贈呈

～創業60周年を記念して創業の地へ恩返し～



創業 60 周年を記念し、創業の地である三条市へ恩返しを行うため、2023年10月25日（水）に寄附金贈呈式を行い、当社代表取締役社長樋口勝人から三条市長の滝沢亮様へ目録を手渡しいたしました。三条市立大学と三条市立小学校・義務教育学校（前期過程）の教育事業資金に充てていただき、次世代を担う子どもたちの学びの場の充実に役立てていただくことを願いました。



Environment環境

各資源の効率的な使用と資源リサイクル活動に積極的に取り組みます。



業務のペーパーレス化

タブレット等の活用により紙の使用量を削減しています。



デリバリーボックスの導入

宅配でお届けする包装箱は、繰り返し使用できるものを導入しています。



その他取り組み（一部）

エネルギー推進 / 照明類のLED化 / バイオマス製品の採用 / リサイクルボックス設置 / 食品廃棄物リサイクル / リサイクル製品積極採用

Social社会

安定した就業の機会と平等かつ公平で健康的な働きがいのある職場を提供します。安全で安心な「食」を提供しつつ、フード・ロス問題に真摯に取り組めます。提供するサービスを通じて、暮らしやすい社会の実現に貢献します。



その他取り組み（一部）

フードバンクの活用 / 安定した雇用の創出 / 積極的な女性登用 / 外国人の採用・登用 / 生産管理の徹底 / 災害時支援事業提携

Governance企業統治

各種法令やコーポレート・ガバナンス・コードを遵守し、多様性のある企業文化の醸成を目指します。

その他取り組み（一部）

品質管理の徹底 / 障がい者の雇用推進 / 差別・ハラスメント撲滅 / 積極的な情報開示 / 事業部間の連携強化



会社名：株式会社オーシャンシステム

英文表記：OCEAN SYSTEM CORPORATION

代表者：代表取締役社長 樋口 勝人

本社所在地：新潟県三条市西本成寺二丁目26番57号

創業：1963年（昭和38年）6月

設立：1978年（昭和53年）11月1日

資本金：801,710千円

上場市場：東京証券取引所スタンダード市場

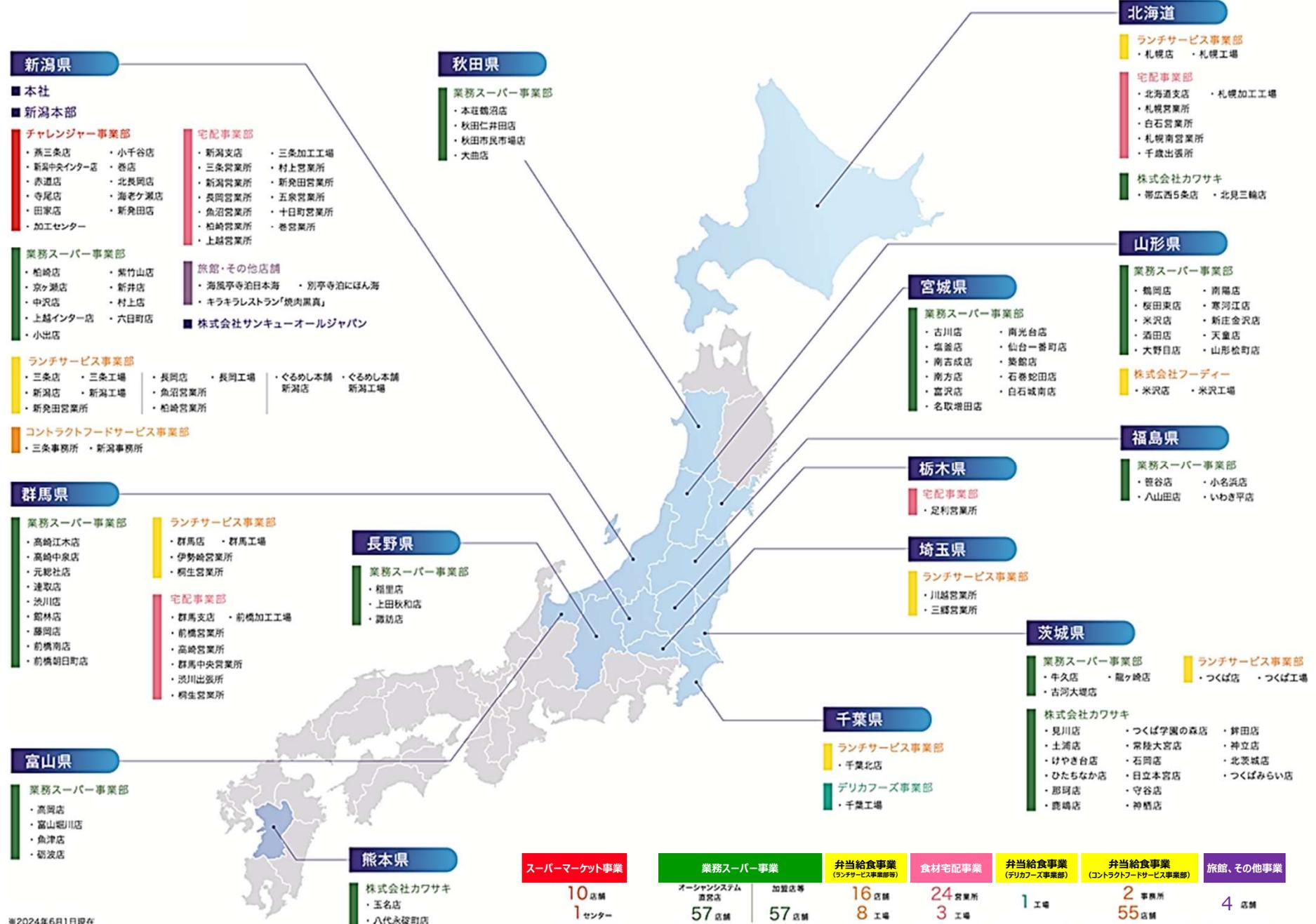
従業員数：1,026名（有期契約社員およびパートタイマー除く／連結）

連結子会社：株式会社サンキューオールジャパン
株式会社フーディー
株式会社カワサキ

計3社
※ 2023年4月28日付で㈱ヨシケイ両毛の全株式を取得し、連結子会社としましたが、2024年4月1日付で吸収合併しております。



参考資料 (子会社含む事業所一覧)



※2024年6月1日現在

チャレンジャー

心のこもった接客を常に心掛け、地域の皆様に「なくてはならない」スーパーを目指します。

チャレンジャー事業部

「チャレンジャー」は「生鮮食品スーパー」と「業務スーパー」が一体となった食品スーパー

- ・鮮度、味、価格にこだわった生鮮食品
- ・毎日低価格の豆腐・麺・牛乳などの日配品
- ・他店にはない業務用の調味料や冷凍食品
- ・店内で調理した“できたての惣菜”

食の安全・安心への取り組み

厳しい品質検査（当社基準）

チャレンジャーでは毎週売場の商品を無作為にピックアップし、厳しい基準（当社基準）の下、細菌の自主検査を行っており、品質保持に努めています。



フレッシュパトロールの配置（品質管理）

各店舗にフレッシュパトロールを配置し、消費・賞味期限のチェック、消費者の目で品質のチェックを行い、食の安全・安心に努めています。



お客様とのコミュニケーションを大切にするために、対面販売を積極的に行っています。

「箱売り」をすることで、スタッフコストを抑制するとともに、大量一括購入のニーズにも応えています。

事業展開



ご利用状況

1日の平均来店者数
約26,200人
(2024年3月期)



当社初の無人決済店舗

チャレンジャーOMZIN
新潟中央インター店に併設して
2023年11月オープン



来店した利用者が手に取った商品を天井のカメラや棚の重量センサーでリアルタイムに認識し、レジで商品を読み取ることなく、会計を可能にした省スペース、ローコストの無人決済店舗

プロの品質とプロの価格

業務スーパー

お惣菜やお弁当、青果、精肉などの品揃えも充実しており、目指すは一步先行く「業務スーパー」

業務スーパー事業部

食のプロから一般のお客様まで利用できる業務スーパー

- ・安全、安心、高品質な食品をお求めやすい価格で販売
- ・フランチャイズエリア内で「業務スーパー」をFC展開
- ・新潟、秋田、山形、宮城、福島、茨城、群馬、長野、富山の各県で直営店を展開
- ※グループ会社の(株)カワサキが茨城県、北海道、熊本県に出店しており、それらを含めると1道10県に展開
- ・エリアライセンス契約のもと、戦略的に出店

業務スーパーの特徴

- ・(株)神戸物産（フランチャイズ本部）が全国で展開
- ・神戸物産グループが製造したクオリティの高いオリジナル商品をベストプライスで販売
- ・冷凍食品を中心とした商品構成
- ・ムダ・ロス・非効率を排除したローコストオペレーションの店舗運営
- ・広告費を節約しエブリデイ・ロープライスを実現

事業展開
子会社・フランチャイズ店を含め
114 店舗
(2024年3月期末)

ご利用状況
1日の平均来店者数
約 59,700 人
(2024年3月期直営77店舗)



一般のお客様もご利用できるよう現金販売を実施しています。
 （業務用食品卸売業は「カスタマーカード」などによる掛売りが一般的です。）

お惣菜・お弁当

馳走菜

CHISOUNA

馳走菜（ちそうな）は「日常の食卓代行」をコンセプトにした惣菜店です。店内手作りにこだわり、添加物や保存料をほとんど使用しない体に優しいメニューを提供しています。当社グループでは、7店舗導入しており、今後も拡大予定です。

「安全・安心・値ごろ感」昼食ニーズに応えた
日替わり弁当を提供

ランチサービス事業部及び(株)フーディー

栄養バランスに配慮した日替わりメニュー。当日加熱、当日盛付の安全・安心なお弁当を、地域に密着したきめ細やかな配送網により、オフィスや工場などに直接お弁当をお届けします。また、事業所に常備設置しておける「冷凍弁当」もご用意しております。

事業展開
1道6県 8工場 16店舗 (2024年6月1日現在)

ご利用状況
1日のお弁当配達数 約 66,600食 (2024年3月平均)



和膳



健美膳



多様なニーズに合わせた食堂運営をプロデュースします。

コントラクトフードサービス事業部

「産業給食」「高齢者・福祉給食」など、幅広い世代に向けた
コントラクトフードサービスのエキスパート
として、楽しい食事の提供を目指すとともに、
お客さまの意向に柔軟なプランのご提案を
致します。

事業内容
(社員食堂・学校給食などの運営受託)

- ・社員食堂・寮・カフェ
あらゆる食事サービスに対応し、お客様
のご要望を最大限に尊重します。
- ・学校給食・幼児給食
学校給食の調理の担い手としての自覚を
持ち、「学校給食衛生管理基準」に従い
「安全・安心」な給食を提供します。

- ・介護・福祉給食
管理栄養士監修のもと、バランスの良く
飽きのこないメニュー作りこだわって
います。



米どころ・新潟が誇る地元産米の羽釜炊きご飯をはじめ、
世界各国のメニュー、迅速に電子決済できる最新の支払い
システムなど、当社こだわりの食事メニューやシステムを
取り入れた充実の内容。利用者の皆さんのランチタイムが
さらに豊かなひとときになるように全力でサポートします。



ご利用状況	
●産業給食	(内、世界のメニュー利用数) 契約施設数 46店舗 (15店舗) 1日の利用者数 約5,160人 (約1,970人)
●学校給食	契約施設数 9店舗 1日の利用者数 約7,000人 (2024年3月期末)

デリカフーズ事業部

関東、東北地域に向けて、OEM (受託製造) 商品を製造・
販売しています。

- ・提案から製造までワンストップ。指定材料での開発や
提案も可能
- ・食品安全管理規格「JFS-B規格」の適合証明を取得



月間製造数	
惣菜製造数	51万個
弁当製造数	39万個 (2024年3月実績)



JFS-B20000697

「楽しい食卓・明るい家庭」の実現をお手伝い

宅配事業部

TAKUHAI

「ヨシケイ」のフランチャイジーとして、新潟県・群馬県・北海道において、夕食食材のセットや季節商品の宅配を行い、お客様へ安全・安心なこだわりの食材をお届けしています。また、「ヨシケイ」のミールキットだけにとどまらず、飲料や調味料などのオーシャンシステムの他事業で取り扱っている商品も宅配し、お客様のニーズを幅広くとらえています。

TAKUHAI みんなのマルシェ



食料品から便利な日用品まで多数取り揃え、ご自宅にしながら簡単・便利なお買い物ができます。

・オリジナル特販企画

ギフトやお取り寄せ商品など、ここでしか買えないグルメが盛りだくさんです。



つくる人から笑顔に。 YOSHIKE!



ミールキット

日替わりのミールキットで調理の時短と栄養バランスの整った食生活を実現。カット野菜や惣菜など豊かなミールキットを提供しています。



ヨシケイキッチン!

全国50万世帯にご利用いただいている夕食宅配サービス「ヨシケイ」が専属の管理栄養士監修のもと、高齢者施設のために開発したメニューなどを高齢者施設や障がい者施設などにご利用いただいています。



夕食にすぐ食べられる! 宅配「健美膳」

New サービス



栄養バランスのとれたおかずを毎日ご自宅までお届けします!



事業展開

1道3県
3工場 24営業所
(2024年6月1日現在)

ご利用状況

週のご利用世帯数
約 15,200世帯
(2023年4月実績)

旅館その他事業



日本海が育んだ贅の極み。
割烹旅館「海風亭 寺泊 日本海」

海の幸の宝庫として全国でも知られている寺泊の立地を生かし、豪華海鮮料理を驚きの価格でご提供。館内レストラン「いけすレストラン」には、総水量400トンのいけすがあり、とれたての海の幸をお召し上がりいただけます。



にいがた和牛が食べ放題。
キラキラレストラン「焼肉黒真」

新潟市「いくとぴあ食花」の施設内にあるキラキラレストラン焼肉黒真は、にいがた和牛を中心に、厳選されたお肉を使用した焼肉が食べ放題。一頭買いで仕入れているためリーズナブルなご提供を実現しています。

- 食べ放題コースのご案内
- <120分制> 黒真DXコース ⇒6,000円(税込)
- <100分制> プレミアムコース ⇒5,000円(税込)
- <80分制> スタンダードコース ⇒4,000円(税込)
- ※上記金額は大人1名の料金となります。



2023年12月1日 グランドオープン
美味しい海鮮丼が食べられるお店

羽釜で炊いた県内産のお米
近海から新鮮な海の幸うまい魚をご堪能いただけます。



新潟本部



新潟本部では、事業部の枠にとらわれずに様々な商品企画やシステム開発を行い、実店舗を想定したデモ店「チャレンジャー 亀田みらい店」や「米どころん食堂」などで運用の検証を行っています。

グループ会社



株式会社 **ガムキューオールジャパン**

日替わりメニューの作成や、オリジナル容器シートコンテナなどを開発しており、事業所向け宅配弁当「フレッシュランチ39」のフランチャイザーとして全国展開しています。



株式会社 **フーディー**

「フレッシュランチ39」ブランドを山形県米沢市を中心とした置賜地域で展開しています。



プロの品質とプロの価格
業務スーパー

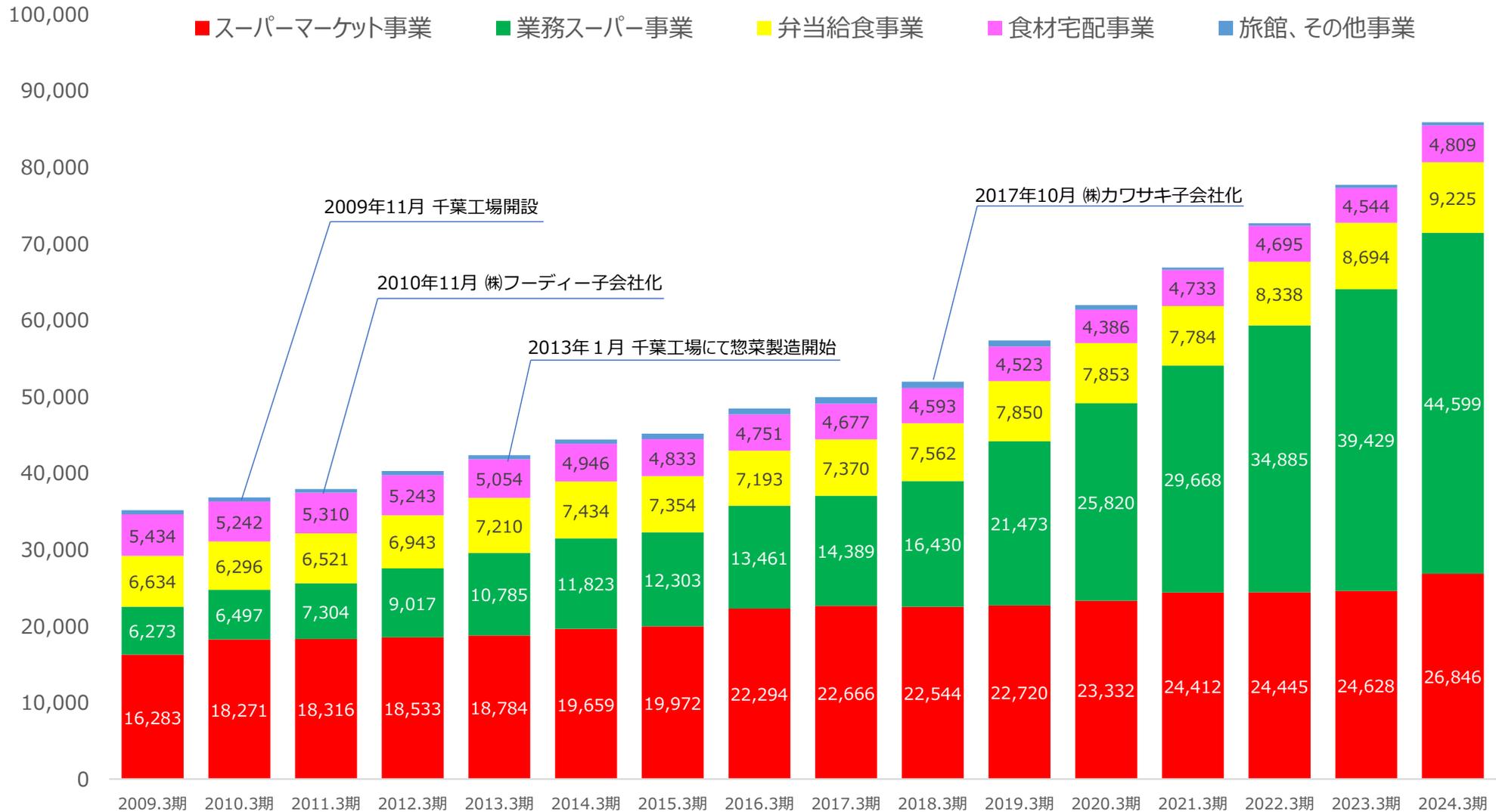
株式会社 **カワサキ**

「業務スーパー」を茨城県で16店舗、北海道と熊本県で各2店舗を展開しています。

※ 2023年4月28日付で「ヨシケイ」ブランドによる夕食材料セット等の宅配を行う(株)ヨシケイ両毛(本社:群馬県桐生市 1977年9月設立、資本金10,000千円)の全株式を取得し、連結子会社としておりましたが、2024年4月1日付で吸収合併致しました。

参考資料 (セグメント別売上高推移)

(単位：百万円)



チャレンジャー店舗数	8	9	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
業務スーパー店舗数	19	22	26	31	37	38	38	41	43	55	56	57	68	74	75	77

参考資料 (株価推移)

